



vol.08

原稿：増原侑子
デザイン：甘城卓也

新年度の準備に東奔西走！ 大刀洗平和記念館の企画展



大刀洗平和記念館2階で実施される企画展は、平和の大切さを考える場になればと毎回様々なテーマを掲げています。4月2日まで「時代を映すグラフィック〜第3回平原健ニコレクション〜」が開催中で多くの来館者の皆様にご覧いただいています。今のわたしの主たる活動は、次の企画展「紙上に咲く花 海軍従軍画家 轟義雄」に向けた調査・史料収集をはじめ、展示内容の準備。毎回のことながら、驚くほど多くのご厚意や新しい出会いに支えられています。

4月5日、新館の落成式と同時開催予定。詳細は記念館ウェブサイトをご覧ください。



▲次期企画展ポスター。福岡県出身の画家・轟義雄が終戦の年までに描いた作品750点から、軍歴をたどって選んだ絵を中心に展示します。当時の事実を知り、平和を尊ぶ企画展になればと思います。



▲展示ケースに収める史料を丁寧に選定。

のんびり後記

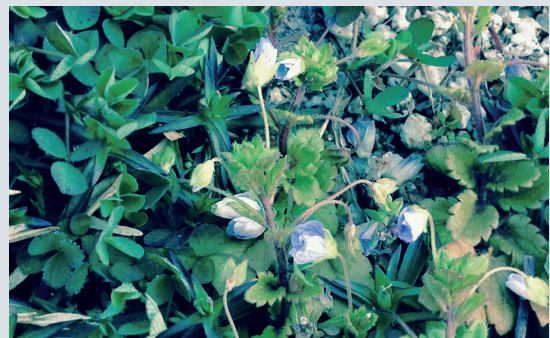
昨年7月就任の我々協力隊にとっても新年度は大切な節目。今期から右の発見枠には、新コーナーの「イチニチクゼン」が始まります。協力隊の気づいた筑前町の良い(善い)点や興味深い場所を写真に切り取っていきます。

イチニチクゼン

町内の人からすると何気ない日常。しかし、町外から来た地域おこし協力隊にとっては新発見！筑前町の良さを見つけるコーナー。



地域おこし協力隊 | 大刀洗平和記念館ブラッシュアップ研究員
yuko_masuhara



想像以上に雪の日が多かった冬が終わり、少しずつ春めいてきました。比較的暖かいと感じた朝、足元に目をとめて撮影した写真です。いつでもどこでも見かけるこの野花、総称でspeedwellと呼ばれます。それ自体は特別ではないですが、小さなつぼみが咲こう、咲こうとがんばっている早春らしい様子にこちらも励まされます！

地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行う。その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。(任期：最長3年間)

筑前町地域おこし協力隊の活動をもっと知りたい方は公式ホームページからチェック！各SNSにもアクセスできます！

筑前町地域おこし協力隊

